

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	事業所の報告内容、要点を記録に残す事や目標達成計画を事業所のプランとして運営推進会議でも課題にし、参加者の意見や協力が得られていない。また、実践課程を記録して参加者との共有が不十分である。	目標達成計画を作成、運営推進会議でも議題として報告し、参加いただいている家族、民生委員、行政などからのアドバイスを頂き、実践と報告を行い、取り組み意識の共有を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の報告内容、要点を記録に残す。 運営推進会議での報告を行い、参加していただいている家族、民生委員、行政からのアドバイスを頂く。 運営推進会議内で実践状況と報告を行う。 	12ヶ月
2	2	事業所と地域の付き合いについて、寿楽便りを発行し、配布時に直接地域の方に届け、交流する機会としているが、発行や配布が遅れる事がある。	寿楽便りを定期的に発行、配布時に地域の方と直接会話する機会を持ち、近所の方からの言葉を聞く。地域の小学校との交流機会を持ち、地域とのつながりを継続する。	<ul style="list-style-type: none"> 寿楽便りを地域に直接配りに行く事で顔を合わせながらのつながりを持つ。 地域の小学校(楠目小)との交流を継続する為、5月の運動会への参加(入居者の方が作った雑巾を持参、贈呈を行う)や、クリスマス会などに寿楽を訪問してもらう機会を作る。 地域の方の寿楽への来所機会(防災訓練、開設行事等)を作る。 	12ヶ月
3	30	入居前からのかかりつけ医で継続した医療が受けられるように支援しているが、主治医への定期受診の際、家族中心に受診を行ってしまっている。定期受診時までの体調変化や気になる様子についての情報提供が不十分である。	定期受診の際、寿楽での生活の中で気付く変化や、症状などを情報を情報提供書として作成し、受診時に家族に持参していただき、可能な限りの情報提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 軽微な変化などはメモや口頭で受診時に医療機関に伝えてもらえるように家族に伝達する。 上記以外の状況や症状変化などは情報提供書を作成し、受診時に持参していただく。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。